つなぐ、未来へ。YUASA

2027年3月期 第2四半期 決算説明会

代表取締役社長CEO　村山　英明

株式会社 YUASA
（証券コード：8074）

All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

会社概要と沿革

会社概要

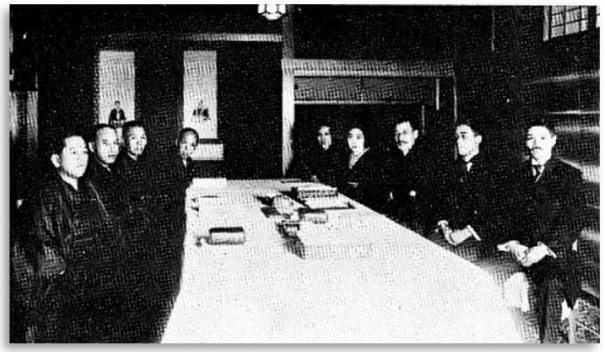
社　　名	株式会社YUASA ※2026年4月1日に「ユアサ商事株式会社」から社名変更
創　　業	1666年
設　　立	1919年6月（株式会社湯浅七左衛門商店）
本店所在地	東京都千代田区神田美土代町7 住友不動産神田ビル17階（受付）
代 表 者	代表取締役会長　　田村　博之 代表取締役社長CEO　村山　英明
資 本 金	20,644百万円
上場市場	東京証券取引所　プライム市場（8074）
事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
事業拠点	【国内】32拠点（本社・8支社・13支店・11営業所） グループ会社 24社 【海外】グループ会社 11ヶ国16社
従業員数	3,156名（連結）　1,331名（単体） ※2026年4月末時点

沿革

西暦・年号	沿革
1666（寛文6）年	初代・湯淺庄九郎が京都にて木炭商を創業
1671（寛文11）年	木炭商から打刃物問屋に転業
1674（延宝2）年	江戸に店を開く
1816（文化13）年	大坂に店を開く
1909（明治42）年	洋金物の国産化を目的に大阪府堺市に湯淺鉄工所を設置
1919（大正8）年	株式会社湯淺七左衛門商店設立
1940（昭和15）年	社名を「湯淺金物株式会社」に変更
1978（昭和53）年	社名を「湯浅商事株式会社」に変更
1992（平成4）年	社名を「ユアサ商事株式会社」に変更
2019（令和元）年	会社設立100周年を迎える
2026（令和8）年	創業360周年を期に社名を「株式会社YUASA」に変更



日本橋通油町（現在の大伝馬町）
にあった炭屋東京店



「株式会社湯淺七左衛門商店」
創立総会（1919年）の様子

All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

企業理念とYUASAグループビジョン

企業理念

「誠実と信用」

YUASAグループは、地球環境との調和を基軸として、世界のいかなる国、地域においても双利共生の環境を重視し、企業活動を通じて、より人間らしい豊かな社会づくりに貢献します。
YUASAグループは、世界の多様な民族、宗教、文化、習慣、制度に対する認識と理解の上に、公正かつ堅実・誠実な活動を通じて、信頼され認められる企業の確立に努めます。

「進取と創造」

YUASAグループは、事業領域を弾力的かつ社会のニーズによって的確に把握し、イノベーションを志向する先進企業集団の形成を目指します。
また、優れた技術・製品の導入及びシステム、サービスの開発を行い、専門分野に精通した部門あるいはグループ企業を通じて、無駄のない合理的な方法によって、顧客の皆さまに満足を提供します。

「人間尊重」

YUASAグループは、社員の個性と権利を尊重するとともに、相互信頼と協調の精神に立脚した組織とルールのもとに、起業家精神と革新的な発想を追求し、実践できる職場環境の形成に注力します。社員は、各自の目標と責任を明確にし、成果を追求するとともに、事業活動において創造性を発揮することによって経営を分担します。会社は、活動の成果に対しては成果配分を徹底し、社員の貢献に応えます。

YUASAグループビジョン

実現したい社会

つなぐ力で社会の基盤を支え、
豊かな、変化に強い
未来を実現する

あるべき姿

社員の創造力と経験を育み、
人とソリューションで
社会課題を解決する

All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

サプライチェーンにおける役割と提供価値

主要仕入先

約6,000社

オークマ
牧野フライス製作所
ファナック
ダイフク
ツガミ
キトー
タンガロイ
ダイキン工業
パナソニック
TOTO
LIXIL
クリナップ
リンナイ
ノーリツ
キッツ
荏原製作所
稲葉製作所
積水樹脂
立川ブラインド工業
四国化成建材
クボタ
ヤンマー建機
AIRMAN　　など

YUASAの役割と提供する価値

YUASA

- **モノづくり、すまいづくり、まちづくり、くらしづくりの**各ビジネスフィールドで**サプライチェーンをつなぎ**商品・サービスを提供
- **人財・モノ・資金・情報・データ・技術をつなぎ社会課題を解決**する新たなソリューションを提案
- **エンジニアリングやサーキュラーエコノミー等**当社グループが有する様々な機能をつなぎ**現場の課題解決を通して取引先と共に成長する**ビジネスモデルを構築

主要販売先

約20,000社

- 機械工具商
  工作機械販売店・ディーラー
- 輸出 → 海外現地法人
- 住宅設備販売店
  管材商
  各種問屋
- エクステリア問屋
  金物問屋
  各種問屋

→ サブコン
ハウスメーカー
工務店
工事業者

- 建設機械販売店・レンタル店
  土木資材販売店
- 燃料販売業者・石油小売店
  ホームセンター・家電量販店
  木材卸商・二次加工メーカー

ユーザー


製造業


施主


デベロッパー


建設業

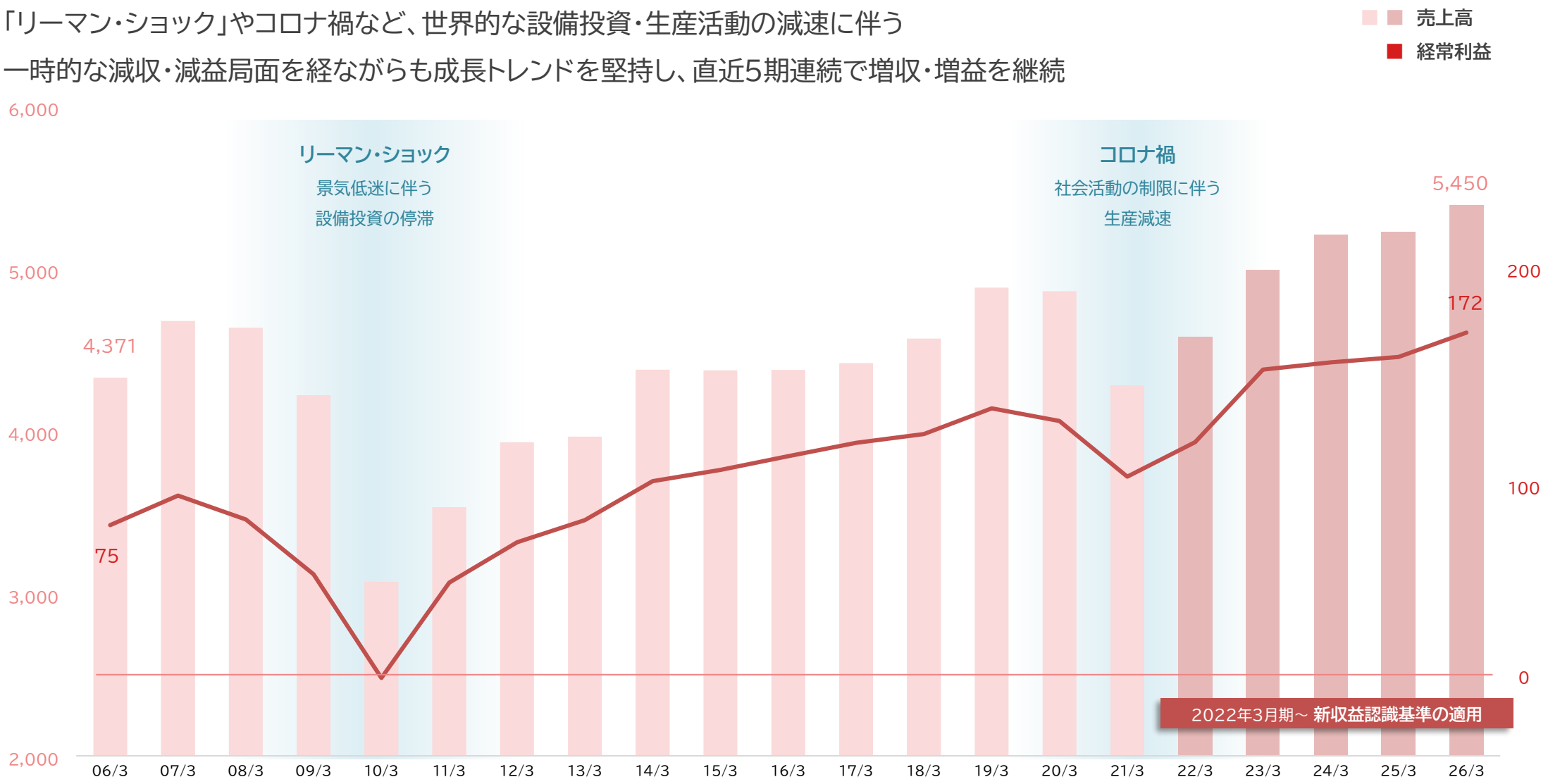

消費者

All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

業績推移(2006年3月期～)

単位:億円(未満切り捨て)

「リーマン・ショック」やコロナ禍など、世界的な設備投資・生産活動の減速に伴う
一時的な減収・減益局面を経ながらも成長トレンドを堅持し、直近5期連続で増収・増益を継続



All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

目次

01 決算概要

02 主要セグメントの状況

03 中期経営計画「Reborn 2031」

All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

01 決算概要

All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

中間期実績

単位：億円（未満切り捨て）
パーセントは表示位未満四捨五入

第1四半期より業績が好調に推移し、増収・増益を確保
売上高、売上総利益、営業利益および経常利益は中間連結決算として何れも過去最高を更新

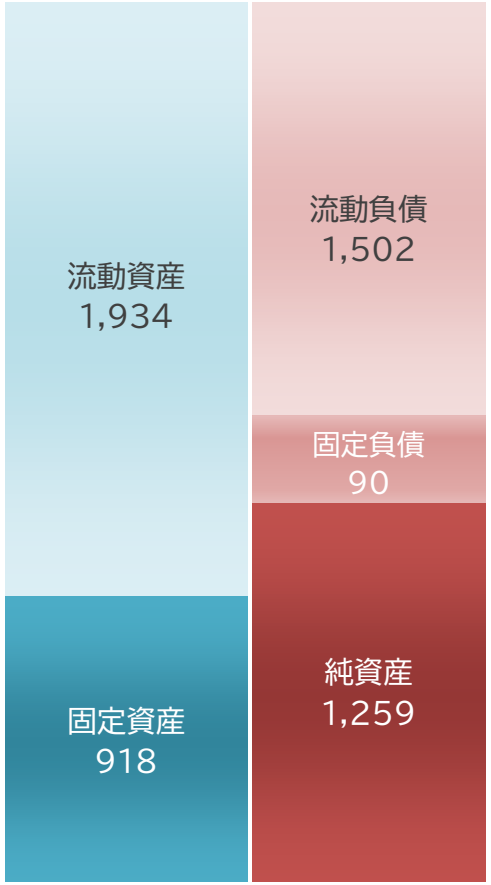
		実績			通期計画（2026年5月8日発表）	
		前年	本年	前年比	通期	計画比
売上高		2,507	2,818	+12.4%	5,460	51.6%
売上総利益	金額	295	340	+15.2%		
	率	11.8%	12.1%			
販売費及び一般管理費		233	259	+11.4%		
営業利益	金額	62	81	+29.4%	170	47.7%
	率	2.5%	2.9%			
経常利益	金額	65	83	+27.8%	175	47.8%
	率	2.6%	3.0%			
親会社株主に帰属する中間純利益		48	55	+13.7%	115	47.9%

All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

連結貸借対照表

単位：億円（未満切り捨て）
パーセントは表示位未満四捨五入

バランスシートの状況



比較連結貸借対照表 【主要内訳】

			前期末	中間期末	増減
資産の部	流動資産		2,152	1,934	▲218
	固定資産	有形固定資産	467	465	▲1
		無形固定資産	156	159	+2
		投資その他の資産	257	293	+35
		固定資産合計	882	918	+35
	資産合計		3,035	2,852	▲182
負債の部	流動負債		1,732	1,502	▲230
	固定負債		87	90	+3
	負債合計		1,820	1,593	▲227
純資産の部	株主資本		1,118	1,145	+27
	その他の包括利益累計額		81	100	+19
	新株予約権		1	0	▲0
	非支配株主持分		14	12	▲1
	純資産合計		1,214	1,259	+44
負債純資産合計			3,035	2,852	▲182
自己資本比率			39.5%	43.7%	+4.2%

All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：億円（未満切り捨て）

項目	昨年同期	当中間期	増減	主要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	29	△100	△130	売上債権の減少額：+118 仕入債務：△270
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52	△21	+31	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△49	△26	+23	配当金の支払額：△24
現金及び現金同等物の増減額	△76	△147	△71	
現金及び現金同等物の期首残高	437	484	+47	
現金及び現金同等物の期末残高	365	336	△28	

All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

（11/13適時開示）通期連結業績予想・配当予想の修正

パーセントは表示位未満四捨五入

第2四半期までの進捗、および第3四半期以降も堅調な推移が見込まれることを踏まえ
5/8に開示した2027年3月期通期連結業績予想および配当予想の修正を実施

項目	単位	前期実績（2026年3月期通期）	従来予想（2026年5月8日開示分）	対前年比	修正後予想（2026年11月13日開示分）	対前年比
売上高	億円	5,450	5,460	+0.2%	5,761	+5.7%
営業利益		167	170	+1.6%	187	+11.7%
経常利益		172	175	+1.5%	191	+10.8%
親会社株主に帰属する当期純利益		120	115	△4.3%	125	+4.0%
1株当たり中間配当金	円	76	73	-	80（7円増配）	-
1株当たり年間配当		190	190	-	197（7円増配）	-

All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

セグメント別概況

単位：億円（未満切り捨て）
パーセントは表示位未満四捨五入

産業機器、住設・管材・空調セグメントが第1四半期から好調に推移し、全社業績をけん引
5つのセグメントで前年同期比増収・増益を達成

	売上高			営業利益		
	前年同期	当中間期	前年比	前年同期	当中間期	前年比
産業機器	365	413	+13.1%	11	17	+56.0%
工場設備	476	506	+6.3%	14	16	+16.2%
住設・管材・空調	1,029	1,182	+14.9%	42	57	+35.5%
建築・エクステリア	254	334	+31.6%	8	9	+14.1%
都市基盤	189	182	-3.9%	7	6	-10.3%
エネルギー	89	96	+7.2%	0	0	+30.5%
その他	102	102	-0.8%	1	-0	-

All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

02 主要セグメントの状況

All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

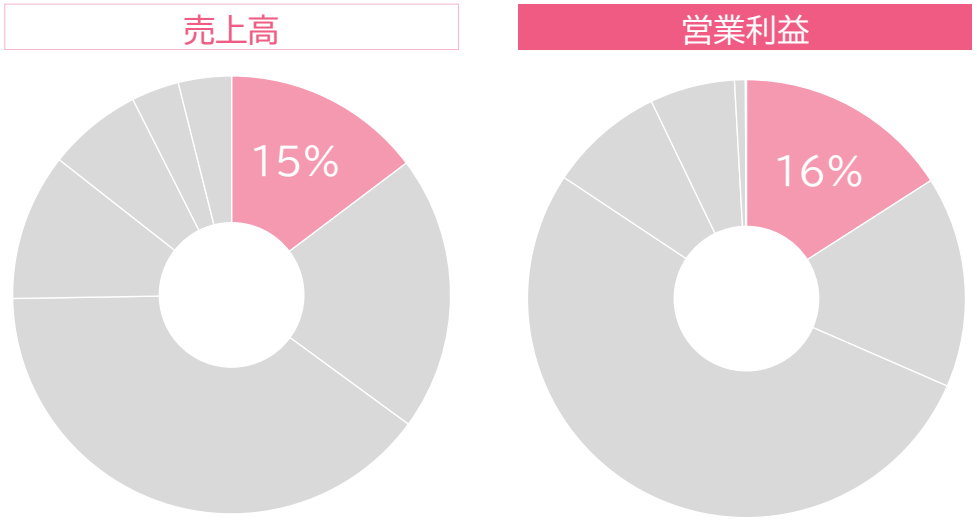
主要セグメントの状況

産業機器

単位：億円（未満切り捨て）
パーセントは表示位未満四捨五入

創業期より営む金物商をルーツとした、工具や制御機器を中心とする産業機材および生産現場の省人・省力・省エネ化機器等を扱う。
タングステンをはじめとした超硬工具原料の供給不安の中、当社ネットワークを活かした供給確保に努め増収・増益を確保。

売上高および営業利益構成比



第2四半期実績の推移

（単位：億円）	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3	2027/3
売上高	370	386	383	365	413 (+13.1%)
営業利益	9	10	10	11	17 (+56.0%)

※ 連結営業利益は調整後数値のため、各セグメントの合計と一致しません。

事業環境と主なトピックス

事業環境の認識

- 中国におけるタングステン輸出規制に端を発した超硬工具の供給不安に起因する需要増
- 協働ロボットや自動搬送ロボット（AMR）、無人フォークリフト（AGF）等工場内物流の自動化需要が底堅く推移

切削工具

超硬工具トップメーカーとのネットワークを活かし
流通在庫と販売機会を確保し、需要増へ対応

測定・計量関連機器

完成車メーカーの生産調整等により工場稼働が低迷し
設備投資は弱含んだ

All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

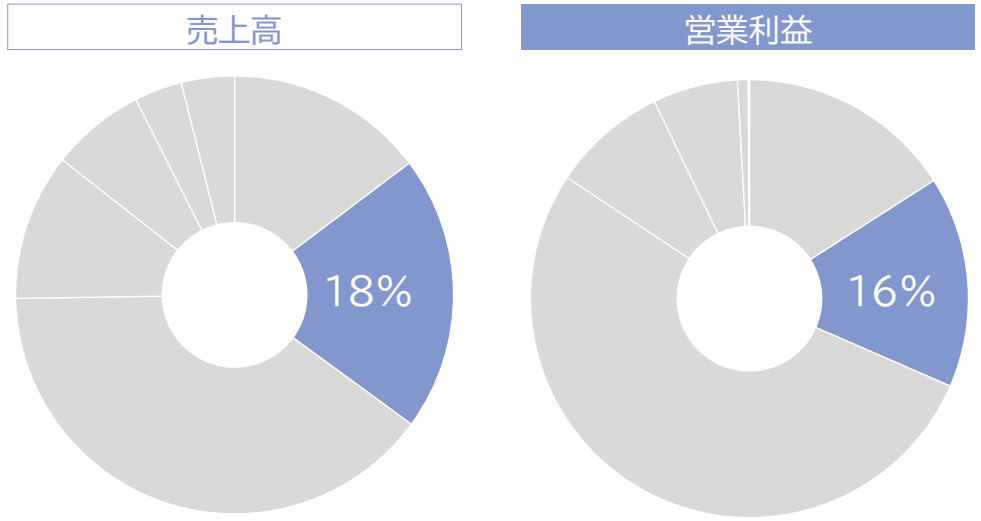
主要セグメントの状況

工場設備

単位：億円（未満切り捨て）
パーセントは表示位未満四捨五入

国内商社でトップシェアを有する工作機械販売を中心に、モノづくり現場向けの生産設備を扱う。
半導体をはじめとする設備投資需要の伸長を受け、増収・増益となった。

売上高および営業利益構成比



第2四半期実績の推移

（単位：億円）	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3	2027/3
売上高	528	578	491	476	506 (+6.3%)
営業利益	22	24	18	14	16 (+16.2%)

※ 連結営業利益は調整後数値のため、各セグメントの合計と一致しません。

事業環境と主なトピックス

事業環境の認識

- 半導体・航空・防衛等における需要増を受け
  工作機械の受注は堅調に推移
- 自動車関連には一部持ち直しの動き
- 生産現場や工場内物流の自動化ニーズが伸長

産業設備・加工周辺装置

機械加工後の切粉やクーラント（冷却水）処理など
工場向けトータルソリューションの受注が伸長

その他分野

競争環境の変化に伴い
板金市場向け製品などの伸長が一服

All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

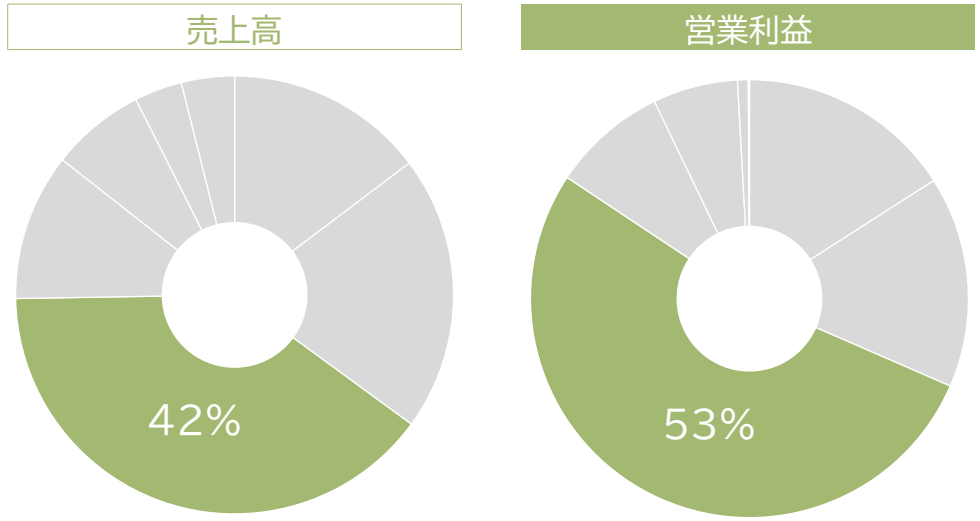
主要セグメントの状況

住設・管材・空調

単位：億円（未満切り捨て）
パーセントは表示位未満四捨五入

水回りなどの住宅設備、配管やバルブなどの管材、および業務用を中心とした空調機器や再エネ関連設備を扱う。
省エネニーズや夏場の猛暑を背景に、高効率な空調機器への更新需要を取り込み売上高・利益ともに大きく伸長。

売上高および営業利益構成比



第2四半期実績の推移

（単位：億円）	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3	2027/3
売上高	815	865	969	1,029	1,182 (+14.9%)
営業利益	23	28	33	42	57 (+35.5%)

※ 連結営業利益は調整後数値のため、各セグメントの合計と一致しません。

事業環境と主なトピックス

事業環境の認識

- 長期的な住宅着工減少トレンドの継続が見込まれ既存建物のリフォームや長寿命化に関する需要が伸長
- エネルギーコストの節減や省エネ、気温上昇などに起因する空調関連機器の需要伸長が鮮明に

空調関連機器

空調改善効率の高い中高級機種を中心に
物販および工事受注が伸長

住宅設備・管材商品

リフォーム向け需要を捉え、住宅設備および管材
（パイプ・バルブ等）の受注も堅調に推移

All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

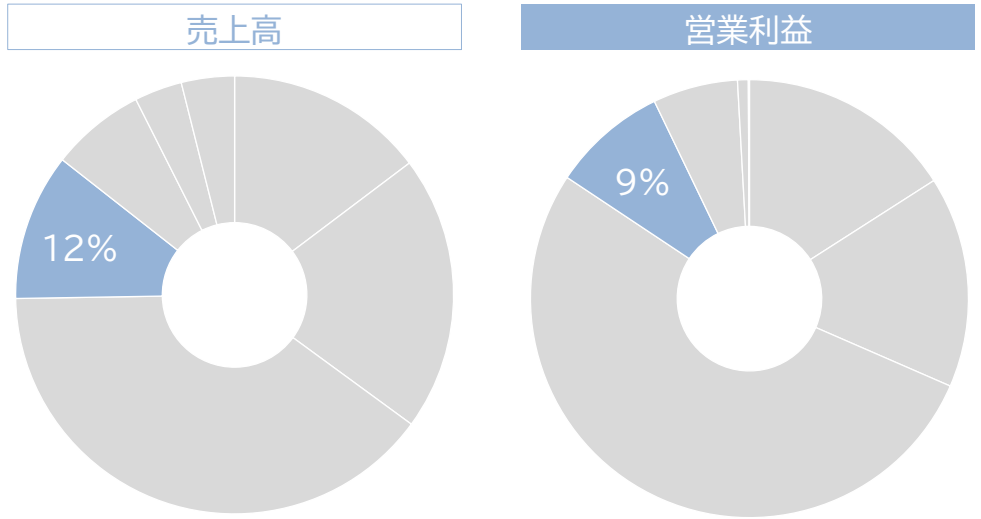
主要セグメントの状況

建築・エクステリア

単位：億円（未満切り捨て）
パーセントは表示位未満四捨五入

建設資材、道路・土木資材、建築金物および外構製品（物置、カーポート、門扉など）をはじめ、まちづくり全般に携わる商品を扱う。
住宅用エクステリアの調達・販売強化などにより、売上高・利益ともに伸長。

売上高および営業利益構成比



第2四半期実績の推移

（単位：億円）	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3	2027/3
売上高	233	251	260	254	334 (+31.6%)
営業利益	9	8	9	8	9 (+14.1%)

※ 連結営業利益は調整後数値のため、各セグメントの合計と一致しません。

事業環境と主なトピックス

事業環境の認識

- 住宅着工の減少トレンドや人手不足もあり
  建築工事そのものの総量は今後も増えないと見込む
- 環境対応、自然災害対策など
  社会課題解決型商品へのニーズの高まり

自然災害対策商品

止水板など自治体向け水害対策関連商品をはじめ
自然災害対策商品の販売が伸長

工期の長期化

人手不足、熱中症対策による労働時間制限など
現場の工期長期化に伴う受注への影響が一部にみられた

All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

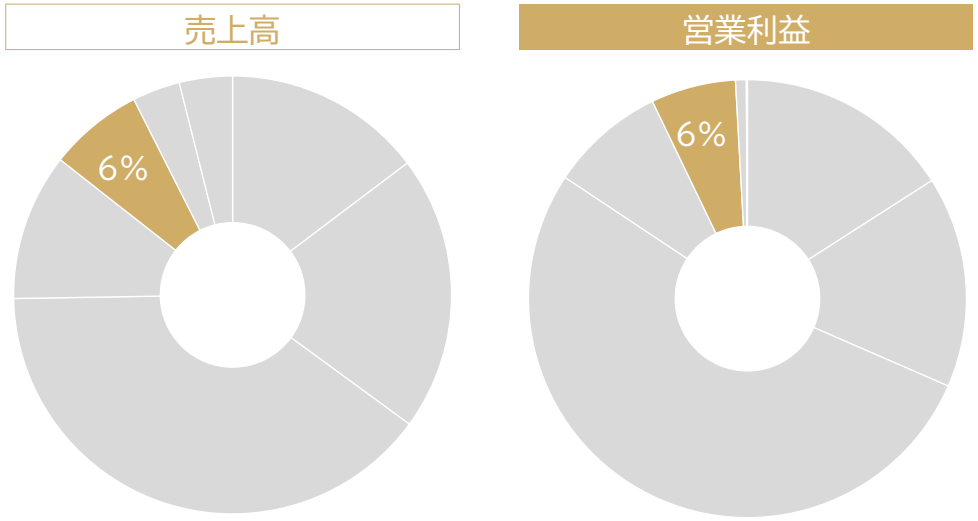
主要セグメントの状況

都市基盤

単位：億円（未満切り捨て）
パーセントは表示位未満四捨五入

建設現場で使用される各種機械、BCP関連製品の販売や独自の建機・農機オークションネットワークを活用した再販などを手掛ける。
人手不足・各種コスト高に加え、台風や長雨の影響等により需要が伸び悩み、減収・減益となった。

売上高および営業利益構成比



第2四半期実績の推移

（単位：億円）	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3	2027/3
売上高	171	181	181	189	182 (-3.9%)
営業利益	4	4	5	7	6 (-10.3%)

※ 連結営業利益は調整後数値のため、各セグメントの合計と一致しません。

事業環境と主なトピックス

事業環境の認識

- 国土強靭化関連や防災・減災工事など土木・公共工事に関する需要は堅調に推移
- 各種コストの高騰や金利上昇を見据え民間建築分野は慎重姿勢が続くとみられる

公共インフラ工事

道路・水道などの工事、および都市再開発にかかわるパブリック用途向けの工事需要が底堅く推移

中古建機・農機オークション

当社独自のオークション機能を活用した中古建機・農機の販売が伸長

All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

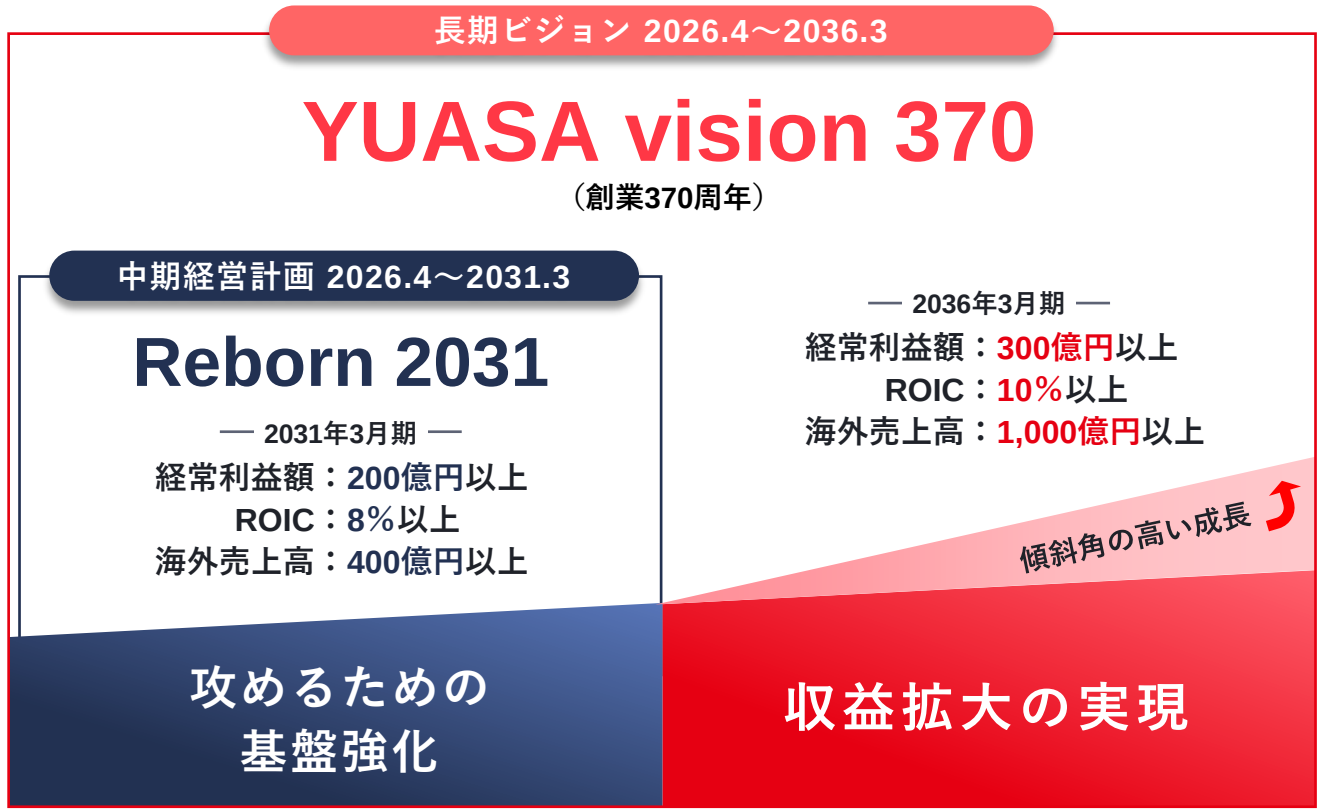
03 中期経営計画「Reborn 2031」

All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

基本方針(再掲)

10カ年の長期ビジョン「YUASA vision 370」の前半5カ年として「攻めるための基盤強化」を推進
「事業」「人財」「経営」の3つの基盤強化と、その推進のための積極的な投資を実施

長期ビジョンと中期経営計画の関係性



3つの基盤強化

事業基盤強化

市場接点の強化・価値創出・サーキュラーエコノミーの推進により
永続的な課題解決のループをより速く、より大きく回し続け
成長性・収益性・効率性の向上を目指す

人財基盤強化

現場のニーズを捉え、価値創造の起点となる人財力の強化に向け
人事制度の整備および教育・研修を進めるとともに
「働きがい」を感じられる企業風土の醸成を目指す

経営基盤強化

持続的成長を支える「攻めと守り」のガバナンス体制構築と
経営リソースの最適配分(成長投資及び株主還元)により
収益機会の創出とマネジメント力の強化を目指す

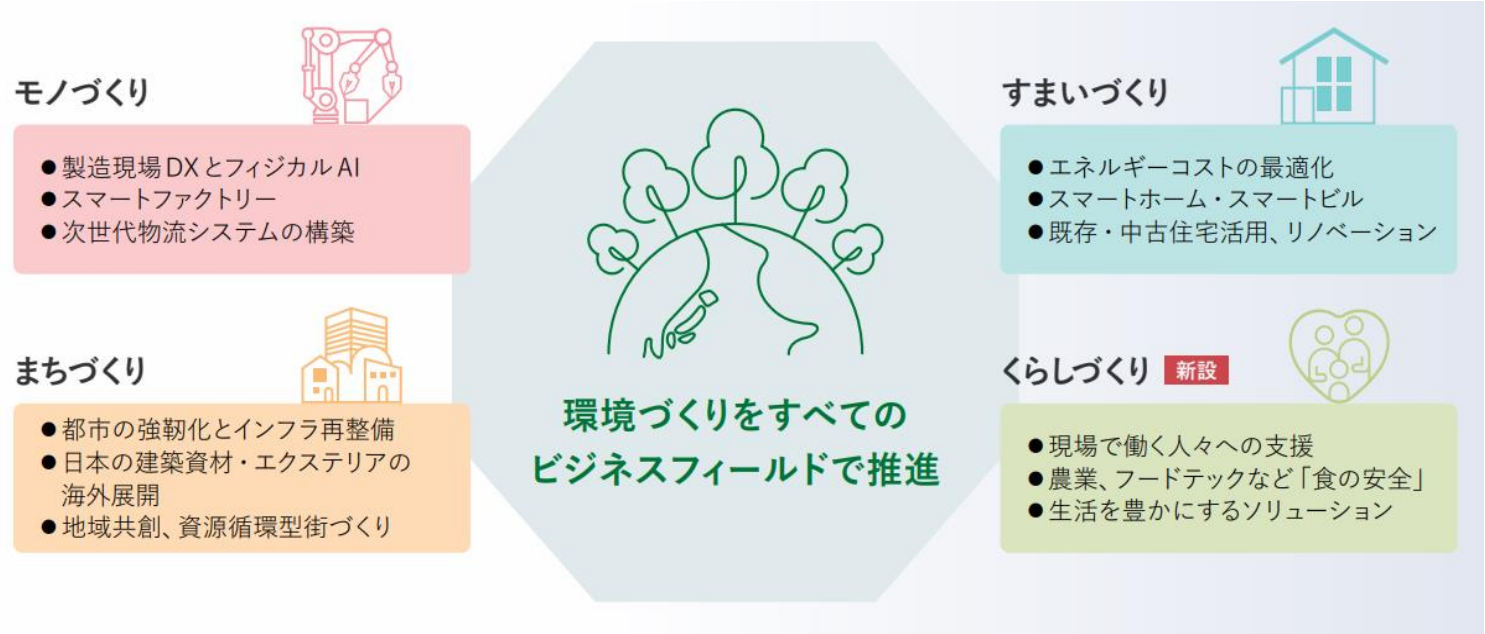
All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

ビジネスフィールドと成長戦略（再掲）

「モノづくり」「すまいづくり」「まちづくり」「くらしづくり」の4つのビジネスフィールドに展開

社会課題の解決を目指す4つの成長戦略分野を定め、既存事業のさらなる伸長と当社の強みを活かし新たな領域展開を目指す

ビジネスフィールド



成長戦略

2031年3月期目標

1	デジタル・ロボット・現場効率化 AI活用・自動化による生産性向上 現場DX・省施工ソリューションなど	450 億円
2	環境・エネルギー 省エネ機器・再エネ、蓄エネ設備 脱炭素ソリューションなど	1,300 億円
3	サーキュラーエコノミー 中古・再生品取り扱い強化 メンテナンス、シェアリング・レンタル機能など	200 億円
4	レジリエンス・セキュリティ 防災、減災、復興・復旧、防犯、防音、防臭 サイバーセキュリティ、熱中症対策など	300 億円
	成長戦略合計	2,250 億円

※成長戦略は各事業セグメントを横断して推進するため、上記の売上高は各事業セグメントに分かれて計上されます。

All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

基盤強化に向けた取り組み

事業基盤強化

- **フードテック事業の展開**
  三菱ケミカルアクア・ソリューションズ社から
  植物工場事業を譲受し市場展開（右写真）
  農作物の安定的な生産を可能にする
  天候や気温に左右されない
  安定的な生産基盤の提供を推進



- **サーキュラーエコノミーへの挑戦**
  当社による修理、補修等を行った再生建機の販売を開始
  初回在庫は早期完売、新規在庫の拡充に向けた仕入強化を進める

- **環境・エネルギー分野の販売増**
  工場等における再生可能エネルギーの需要増を背景に
  産業用蓄電池等の販売が伸長

- **エンジニアリング機能の強化**
  これまで関東のみだった空調改装対応拠点を関西地区にも新設、稼働を開始
  工事有資格者を関東に加え中部・関西にも配置、工事受注体制を拡充

人財基盤強化

- **中期経営計画の浸透に向けた**
  「社長懇談会」の実施
  社長の村山自らが全国の支社・支店を回り
  中期経営計画の目的と詳細を伝えるとともに
  現場で働く社員との意見交換、コミュニケーションを実施



- **営業研修の実施**
  人財基盤への投資の一環として「再現性の高い営業の仕組み化」に向けた研修をスタート

経営基盤強化

- **AX・DX推進**
  - **全社におけるAI活用強化**
    全社員に生成AI利用環境を提供
    AIエージェントによる業務効率化・高度化を推進
  - **セキュリティ対策**
    ゼロトラスト・セキュリティ体制の構築に向けた検討

- **リスクマネジメント体制の整備**
  ROICを意識した経営と
  「規律ある積極投資」を推進するため
  新設した「リスクモニタリング委員会」にて
  投融資判断に際しての
  リスクマネジメント基準の策定を進める

All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

海外戦略

現状の海外売上比率(連結ベース)は5%未満と、当社にとって大きな伸びしろを秘める
約50年の展開実績がある工業に加え、住環境・建設分野の総合展開を通じ伸長を図る

基本方針(再掲)

- **海外拠点での総合力発揮(工業＋住環境、建設)**
- **フードテック等新市場への展開**
- **タイの取り組み事例を他国に水平展開(ベトナム・インド・アメリカなど)**

タイにおける主な事業展開



現地法人本社(バンコク)

最新の日本の製品・設備を設置
1階部分には加工テストなどを行える
ショールームを完備



バンコクのモデルハウス「YUASA SAKURA HOUSE」

日本の住宅ソリューションを
実際の生活空間でまるごと体感

- **当社独自の中古オークションプラットフォーム「YUMAC」の活用**
  - 現在は建機・農機中心だが、今後は全事業領域へ商材を拡大
- **拠点政策**
  - タイを中心としたASEAN・インド・北米エリアに注力
  - 特にインドについては、2031年までに8拠点へ拡大(現在4拠点)

目標設定

2031年3月期 海外売上高
400億円
(うち新品:340億円 中古:60億円)

2036年3月期 海外売上高
1,000億円

※海外戦略のKPIは、これまでの「取扱高(輸入および海外販売の合計)」から「**海外売上高(海外販売のみ)**」に変更。

海外事業トピックス

- **フードテック市場への展開**
  来年3月にベトナムで開催される
  食品加工・包装市場向けの展示会
  「ProPak Vietnam 2027」
  (写真)に出展



- **海外半導体市場向け展開**
  世界最高レベルの清浄度を実現し
  清浄・発塵作業両方に対応する
  クリーンルーム「フロアーコーチ」を
  半導体生産現場向けに展開



- **YUMACオークションの海外向け取り扱い増**
  ベトナム向け国産中古発電機の
  大型受注をはじめ、中古建機の
  仕入・販売の強化が進む



All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

海外戦略

PROPAK VIETNAM(プロパックベトナム)2027について

【日程】2027年3月10～12日

【場所】Saigon Exhibition and Convention Center
（ベトナム・ホーチミン市、右写真）

【規模】来場者数：約10,000名
33の国・地域から約400社が出展











All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

海外戦略

クリーンルーム「フロアーコーチ」(興研)について

半導体製造工場や食品工場など

高いレベルの清浄度を求められる現場に対応

周囲を囲わないオープンなつくりだから

空間内で発生した粉塵などが滞留せず

常に清潔な環境で作業が可能

世界最上級の清浄度

ISOクラス1(最高水準)のクリーン環境を
簡単に構築できる

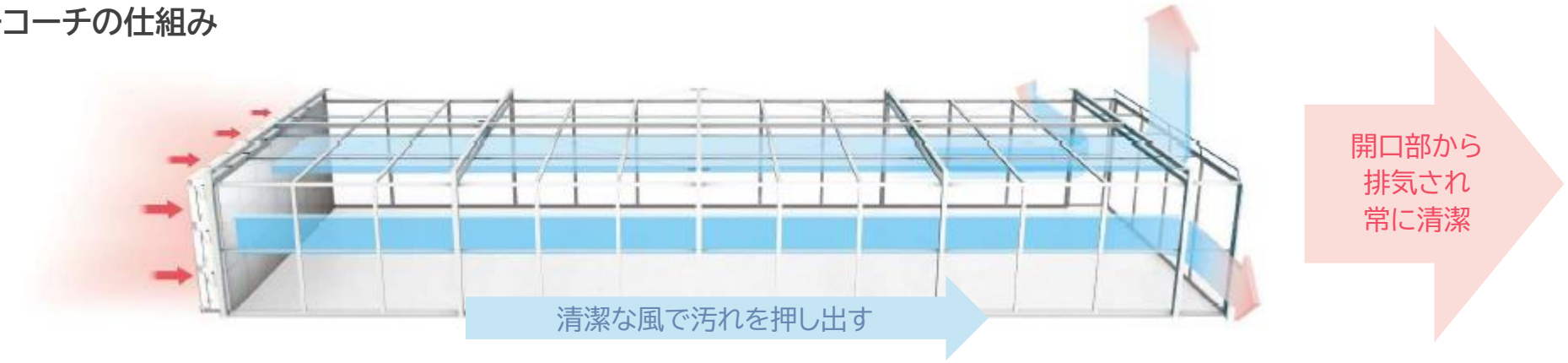
圧倒的な低消費電力

一般的な密閉型クリーンルームと比べて
消費電力を最大で10分の1まで低減

設置・移動・拡張が簡単

ユニットは必要な広さに応じて増設可能
設置、移動、またクリーンエリアの拡張も簡単

フロアーコーチの仕組み



All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

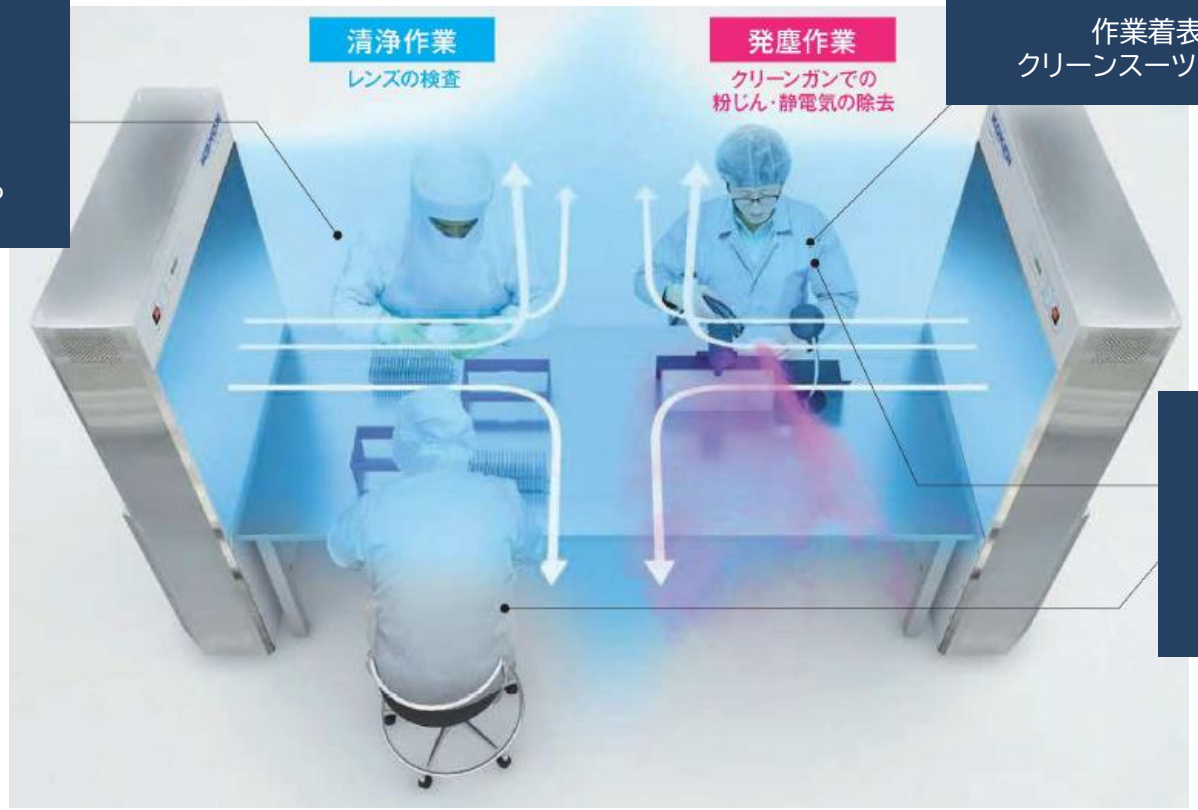
海外戦略

クリーンルーム「フロアーコーチ」(興研)について

特徴とメリット

発塵作業と清浄作業を同じ空間で対応できる

ユニットを対面で設置することで
空気がぶつかる地点で排気される



作業服のままで清潔を保てる

作業着表面の汚れも常に排出されるから
クリーンスーツに着替える手間なく効率的に作業可能

複数人での作業に対応

ユニット配置でエリア分けができ
同時に作業しても左右や向かいの
気流に影響されない

All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

投資方針(再掲)

持続的成長による強固な財務基盤を発射台に、今後5年間を「積極的投資フェーズ」への移行期と位置づけ
営業CFをベースとした、5年累計400億円＋αの投資計画を策定

外部調達他

戦略的追加投資

M&A、アライアンス、成長投資他

成長機会を逃さず、規律を持って果敢に挑戦

営業キャッシュ・フロー

株主還元

【累進配当】を原則とし、下記方針に沿って実施

株主還元率	35%以上
DOE(株主資本配当率)	3.5%以上

営業キャッシュ・フローを
ベースとした成長投資(5年累計)

400億円程度

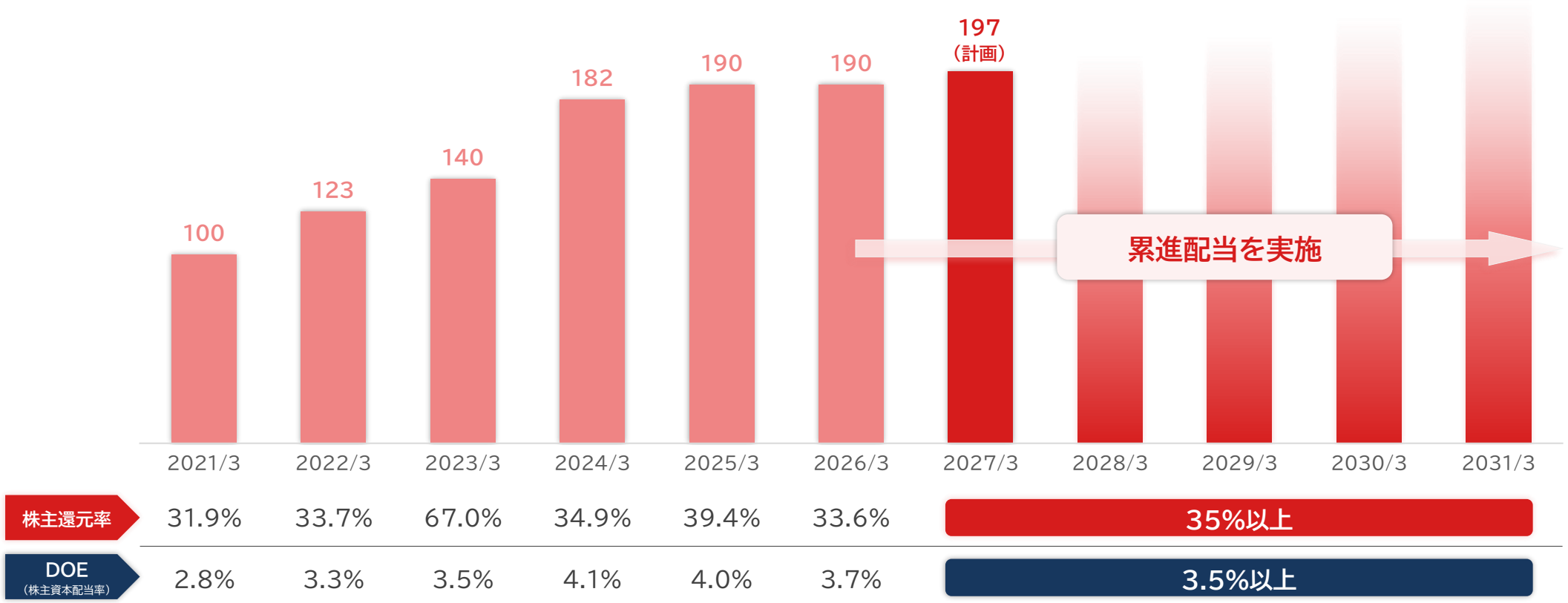
事業基盤	200億円程度
経営基盤	170億円程度
人財基盤	30億円程度

All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

配当方針

株主還元は配当を以て行うことを基本方針とし
累進配当（減配なし）を原則に、株主還元率35%以上、DOE3.5%以上を目標に実施

配当実績及び計画



※株主還元率には自己株式の購入分を含みます。

All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

非財務KPI

環境目標は、重要性の観点から当社事業を通じたサプライチェーン全体への削減貢献を目標に設定

人的資本目標は、総合力を発揮できる人財ポートフォリオの構築に向け、注力項目のブラッシュアップを実施

環境		排出削減に向けた取り組み
	Scope1&2	2050年度（2051年3月期）における カーボンニュートラル達成を目指す
	Scope3	環境配慮型商品・サービスの提案、販売を通じ サプライチェーン全体の排出削減への貢献を目指す
人的資本		計画
	女性管理職比率	【2031年3月期】 5.0%以上
	多様性人財新卒採用比率 （女性総合職、外国籍社員、DX人財等）	【2031年3月期】 40%以上
	男性育児休暇等取得率	100%の達成を目指す

All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

市場接点の強化

当社事業領域は、高市政権の掲げる17の「成長戦略」との重なりも大きい
当社最大のセールスプロモーションである「グランドフェア」をはじめとした各種機会を通じ、市場接点の強化を図る

全国5会場で開催される「グランドフェア」

メーカー・販売先をつなぎ、市場に新たな価値を提案する「グランドフェア」においても
当社ビジネスフィールドにおける成長戦略関連分野のソリューションを多数紹介



※各ビジネスフィールドに関連する成長戦略領域の一例を示しており、実際の取り組みはこれらの分野に留まりません。

「熱中症対策展」の開催

事業者に対する熱中症対策の義務化を受け
当社が手掛ける熱中症対策ソリューションを集めた
展示会を今春に初開催。
各地での盛況を受け、今後は開催エリアを拡大し
さらなる訴求を図る。



（写真）当社グループのユアサプライムスが展開する
ペルチェ冷却プレート搭載の「冷蔵服」（左）と
工事不要で利用できるスポットクーラー（右）

All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026

Disclaimer

本資料に掲載された予測および将来の見通しに関する記述等は、本資料の発表日現在における入手可能な情報、一定の前提や予期に基づくものです。よって、実際の業績、結果は、経済動向、市場価格の状況、諸制度の変更など様々なリスクや不確定要素により大きく異なる結果となることがありますが、当社は、本資料の情報の利用により生じたいかなる損害に関し、一切責任を負うものではありません。

また、当社は本資料に掲載された予測および将来の見通しに関する記述等について、改訂する義務を負うものではありません。

＜お問い合わせ先＞
株式会社YUASA　総務部　IR・サステナビリティ推進室
【Mail】ir@yuasa.co.jp

All Rights Reserved. Copyright YUASA CO.,LTD. 2026